



臨床腫瘍セミナー

～ 制吐療法最前線！ ～

日時：平成22年9月21日(火) 18時～19時

場所：福島県立医科大学 第二臨床講義室

演題：「がん化学療法における適正な制吐療法とは
：最新のガイドラインを踏まえて」

講師：順天堂大学医学部附属順天堂医院
乳腺科長 齊藤 光江 先生

<演者紹介>

1984年に千葉大医学部を卒業後、東大分院外科に入局、1990-1992年MDAnderson癌センターの細胞生物学教室にて、転移の研究をし、帰国後東大分院外科の助手、1995-2002年癌研病院乳腺外科医員、2002-2006年東大大学院講師、2006年から順天堂大学医学部附属順天堂医院乳腺科科長（先任准教授）。2009年からMASCC国際制吐剤ガイドライン作成委員。

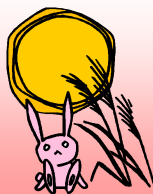
<講演内容>

数年のdrug lagを経て、制吐剤の承認がやっと先進諸国に追いついた本年、国内のガイドラインも作成されたが、MASCCの国際ガイドラインも最新版が発表された。日本初の制吐剤大規模臨床試験の結果が反映されたものになった。そのいきさつを紹介し、適正な制吐剤使用法を考えたい。

- ◆がん治療に携わる医師及びコメディカルを対象に公開セミナーとして開催されます。
- ◆本セミナーは「東北がんプロフェッショナル養成プラン」事業の一環となっております。
- ◆本学大学院生は、大学院授業要項で規定する共通必修科目（規定の8）に該当します。

<問い合わせ先>

福島県立医科大学附属病院 臨床腫瘍センター
がんプロフェッショナル養成支援室
TEL：547-1410（内2661）
mail：mk3765@fmu.ac.jp



<次回のお知らせ>

日時：平成22年10月19日(火) 18時～19時
講師：フェイシャルセラピスト REIKO KAZKI主宰
かつき れいこ先生
内容：「リハビリメイクについて」